

**目には見えない、土台が肝心。**

ただし、あとで清水さんに聞いたところ、ぼくの茶碗を見て、陶芸の先生はこうつぶやいたそうだ。  
 「芯がしっかりしている。ぶれない子だね」  
 陶芸の先生には、サッカーの知識はまったくない。  
 不思議に思った清水さんが「なぜそう思ったんですか？」と聞き返すと、先生は、  
 「高台を見てほしい。飾り気がないけれど、すごくしっかりしている」  
 と答えたそうだ。高台は茶碗の底にあり、気にしなければほとんど目につかないような部分だ。  
 僕からしたら高台という言葉すら知らず、完全に買いかぶりだと思ふ。それでも自分の作ったものが褒められたのは嬉しいことだった。  
 はたして僕が本当に心がしっかりしているかは分からないが、陶芸の先生に大切なことを教えてもらったような気がする。  
 外からあまり見えない土台こそ大事にきなさい、と。  
 またいつか、清水さんと一緒に陶芸にチャレンジしたいと思った。

『心を整える。』（長谷部誠）

基礎・基本はとても大切です。それは皆さんも分かっているのではないのでしょうか。しかし、この基礎・基本を身につけるための訓練は先が見えづらく、大抵はめんどうなことが多いので、なかなか長続きしませんね。

学習に関することでは、例えば英単語の練習や社会科の用語・人物名を頭に入れることが基礎・基本にあたると思います。しかし、日々学習して増えていく数えきれないほどの英単語を練習したからといって、すぐにテストの点数が一気に上がるかと言われると、そうではない気がします。社会科も同様です。

部活動もそうだと思います。私も中学生や高校生の頃、基礎・基本を徹底的に練習していました。基礎体力をつけるための地味できついトレーニングを積み重ねました。技術的なことであっても、ゴロの捕り方や投げ方についても、手で転がしたボールを何百球と捕ったり、ずーっとしたりということの連続でした。「こんなことをいつまでやらなければならないんだ。」と思ったこともありましたが。私自身が基礎・基本の大切さに気付いていなかったのです。こう思っている限りは上手くなるはずもありません。基礎・基本を何度も繰り返すのは、考えなくても動けるようになることを目指しているからです。体に覚え込ませることができなければ、実際のプレーで生かすことはできませんね。

学習も同じですね。基礎・基本が身についているからこそ応用に取り組むことができます。最初から応用にチャレンジしても、基礎知識という“考える材料”がなければどれだけ考えても分かりません。だからこそ、地味ではありますが、コツコツと基礎・基本を積み重ねていくしかないのだと思います。

全ては更なる高みへ目指すための“準備”だと思います。土台がしっかりしなければ、積み上げたものは崩れてしまいます。積み木を高く積み上げるためには、土台となる部分を固めますね。それと同じだと思います。皆さんが毎日一生懸命積み上げようとしているものが崩れないようにするためにも、基礎・基本という土台を強くしたいですね。

毎日の自主学習ノートを見ていると、英単語練習や漢字練習、用語練習等を何十回と練習している人がいます。すぐに結果が出るということはないかもしれませんが、今確実に基礎・基本を積み重ねています。「どうせやってもムダだ。」と思うのではなく、「きっといつか結果に結び付く。」という前向きな気持ちで、自分を信じて頑張り続けましょう！

